

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について

I 事業報告について

1 調査研究事業

医療、保健衛生等の分野における各種の在宅医療・介護等について、次のとおり調査研究を行った。

(1) 在宅介護実態調査

神戸市医師会に委託して、神戸市医師会員が主治医として診察している在宅長期寝たきり者について、次のとおり実態調査を行った。

ア. 回答集計

在宅長期寝たきり者（令和4年7月1日現在、6か月以上寝たきり又はそれに準じる者）

総 数 1,663人（男性 552人、女性1,111人）

（平均年齢 84.6歳 男性79.7歳、女性86.9歳）

イ. 医療の対象である主たる病名

① 脳梗塞及び脳出血後遺症・脳血管障害	329人（19.8%）
② 認知症	268人（16.1%）
③ 高血圧症・心疾患	254人（15.3%）

ウ. 「寝たきり」の原因となった主たる病名

① 廃用性症候群	354人（21.3%）
② 脳梗塞及び脳出血後遺症・脳血管障害	348人（20.9%）
③ 認知症	212人（12.7%）

エ. 食事の状況

① 自力で食事可能	695人（41.8%）
② 介助で食事可能	544人（32.7%）
③ 全介助（経管栄養等含む）	419人（25.2%）
④ 不明	5人（0.3%）

オ. 在宅で行っている医療行為（複数回答可）

① リハビリなどの機能訓練	167人（10.0%）
② 皮膚病変の処置、管理	162人（9.7%）
③ 胃瘻（空腸瘻含む）による経管栄養	148人（8.9%）
④ 尿道留置カテーテル、腎瘻、人工膀胱	136人（8.2%）

カ. 医学的見地から、より充実させるべき医療行為（複数回答可）

① 訪問リハビリテーション	491人（29.5%）
② 入院のための病診連携	463人（27.8%）
③ 訪問看護	375人（22.5%）
④ 他科医師との連携	311人（18.7%）

キ. 現状で不足していると思われるサービスの種類 (複数回答可)

① なし	655人 (39.4%)
② 訪問リハビリテーション	325人 (19.5%)
③ 短期入所療養介護 (ショートステイ)	268人 (16.1%)
④ 訪問看護	181人 (10.9%)
⑤ 通所リハビリテーション	149人 (9.0%)

ク. 主として介護している人

① 子供 (女)	361人 (21.7%)
② 親族以外の人 (女)	340人 (20.4%)
③ 配偶者 (女)	292人 (17.6%)
④ 子供 (男)	189人 (11.4%)

ケ. 人生の最終段階における受たい医療のあり方についての相談

① 行っていない	859人 (51.7%)
② 家族と相談	502人 (30.2%)
③ 本人及び家族と相談	218人 (13.1%)
④ 本人と相談	54人 (3.2%)
⑤ 不明	30人 (1.8%)

コ. 全体の看取り数

計 1,961人 (前年度 2,203人)

① 在宅以外 (特養、老健、高齢者住宅、有料老人ホーム他)	1,008人 (51.4%)
② 在宅	953人 (48.6%)

※看取り数の構成割合は、1,961人を分母とする。

(2) 神戸リハビリテーション病院退院患者調査

病院退院先の推移

(単位：人)

年度	退院患者数	家庭	病院	老人保健施設	老人福祉施設	その他
2	790	555	95	67	44	29
3	830	609	91	57	25	48
4	856	650	71	53	64	18

神戸リハビリテーション病院から家庭復帰した退院患者のうち、居宅介護サービス等を利用する方の担当のケアマネジャーに対し、在宅生活における状況等の調査を行った。

【回答総数 179件 (男性69人、女性110人)】

ア. 主な疾患

①脳血管疾患	83件 (46.4%)
②整形疾患	79件 (44.1%)
③廃用他	17件 (9.5%)

イ. 急性増悪の有無		
①増悪なし	158件 (88.3%)	
②増悪あり	18件 (10.0%)	心不全、肺炎、骨折他)
③不明	3件 (1.7%)	
ウ. 機能低下の有無		
①機能低下なし	132件 (80.0%)	
②機能低下あり	29件 (17.6%)	歩行、嚥下障害、移動動作他)
③不明	4件 (2.4%)	
エ. 退院後の居場所		
①自宅	142件 (86.1%)	
②入院中	7件 (4.2%)	
③サ高住・有料老人ホーム	5件 (3.0%)	
④その他	11件 (6.7%)	